



令和元年 7月 8日

「 食べるだけで貢献！～おいしい昆虫のヒ・ミ・ツ～」

国連食糧農業機関（FAO）が、2013年に報告書「食用昆虫類：未来の食糧と飼料への展望」を公表して以来、昆虫食や昆虫資源生産に関連する事業は、世界中から注目されるようになりました。近年、日本でも食料生産から食卓に続くフードチェーンに技術革新が生じる可能性が高まっています。本フォーラムでは、学外から専門家をお招きし、昆虫食や昆虫飼料の開発が進みつつある背景についてご講演いただきます。さらに、香川大学農学部で行われている昆虫飼料化に資する取り組みを紹介し、学生が中心に行っている地域連携活動、地域と協働できる事業化紹介など、一般の方でも理解できる内容になっています。参加費は無料ですので、皆様の参加をお待ちしております。

1. 日時：令和元年 7月 12日（金） 15時00分～16時30分
2. 場所：香川大学 オリーブスクエア 多目的ホール（香川県高松市幸町 1-1）

※駐車場はございません。公共交通機関もしくは周辺の有料駐車場をご利用ください。

3. 参加対象者（100名程度） 一般市民、行政関係機関、本学関係者など。

4. 参加費無料

5. 講演内容（講師・演題）

演題：昆虫食は救世主！

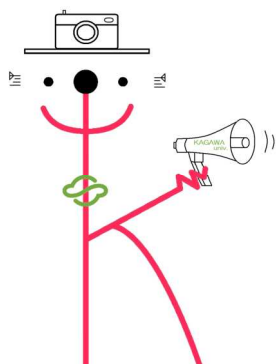
講師：眞鍋 昇 氏（日本学術会議 会員、東京大学 名誉教授、内閣府食品安全委員会 座長、大阪国際大学 学長補佐・教授）

演題：平成 31 年度日本中央競馬会畜産振興事業「昆虫タンパク質を代替原料に用いた鶏用飼料の有用性評価事業」の紹介

講師：川崎 浄教氏（香川大学農学部 助教）

演題：ミズアブプロジェクトの事業化について

講師：藤谷 泰裕氏（大阪府立環境農林水産総合研究所 資源循環グループ 研究管理監）



➤ お問い合わせ先
香川大学 農学部 准教授 松本由樹
TEL：087-891-3057
E-mail：myoshiki@ag.kagawa-u.ac.jp
* 上記不在の場合は香川大学農学部 庶務係まで。
TEL：087-891-3008, FAX：087-891-3021
E-mail：ashomut@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

食べるだけで貢献！～おいしい昆虫のヒ・ミ・ツ～

国連食糧農業機関（FAO）が、2013年に報告書「食用昆虫類：未来の食糧と飼料への展望」を公表して以来、昆虫食や昆虫資源生産に関連する事業は、世界中から注目されるようになりました。近年、日本でも食料生産から食卓に続くフードチェーンに技術革新が生じる可能性が高まっています。香川大学農学部ではオリーブ学やうどん学等、地域に根付いた地域理解や人材育成を通して、地域資源の循環や取り組み、さらには、問題解決を通して新たな取り組みを派生すると考えています。研究面では、大阪府立環境農林水産総合研究所や愛媛大学、国際農林水産業研究センター（JIRCAS）と共に環境研究総合推進費の受託事業を通して、ミズアブ機能に注目した取り組みを成功させました。

本フォーラムでは、学外から専門家をお招きし、昆虫食や昆虫飼料の開発が進みつつある背景についてご講演いただき、さらには、香川大学農学部で行われている昆虫飼料化に資する取り組みを紹介し、学生が中心に行っている地域連携活動、地域と協働できる事業化紹介など、一般の方でも理解できる内容になっています。参加費は無料ですので、皆様の参加をお待ちしております。

日時：令和元年 7月 12日（金）

場所：香川大学 オリーブスクエア 多目的ホール（香川県高松市幸町 1-1）

時間：15:00～16:30

挨拶：香川大学農学部教授 農学部長 深井誠一

司会：香川大学農学部准教授 松本由樹

講演 1：昆虫食は救世主！

眞鍋 昇氏（日本学術会議 会員、東京大学 名誉教授、内閣府食品安全委員会 座長、大阪国際大学 学長補佐・教授）

講演 2：平成 31 年度日本中央競馬会畜産振興事業「昆虫タンパク質を代替原料に用いた鶏用飼料の有用性評価事業」の紹介

川崎 浄教氏（香川大学農学部助教）

講演 3：「イタリアトリノ大学の昆虫飼料化と留学先での研究紹介」

大川 真実氏（香川大学大学院農学研究科修士 1 年生）

講演 4：「食べ残しを減らそう～千里の道もエッグから～ プロジェクト 活動報告」農学部公認サークル(Lieto Ottimo)のこれまでの取り組みと地域連携

上野 陽菜氏（香川大学農学部 3 年生）

講演 5：ミズアブプロジェクトの事業化について

藤谷 泰裕氏（大阪府立環境農林水産総合研究所 資源循環グループ 研究管理監）

総合討論

閉会挨拶